



知る、考える、進めるために。

除染情報プラザ

福島県



福島再生

REPORT

11

平成24年8月23日

毎週、福島を除染活動状況をお伝えします。

南相馬市

約16万人が堪能した今年の「相馬野馬追」
除染を進め、通常開催へ。



2年ぶりに復活した甲冑（かっちゅう）競馬。人馬一体の勇壮な走りに、約42,000人の観客が酔いしれた。

昨年は、規模を大幅に縮小して行われた「相馬野馬追」。南相馬市では、「今年こそは通常通り開催を」という市民の想いを受けて、5月中旬からメイン会場となる同市原町区の雲雀ヶ原祭場地や、野馬懸の神事が行われる小高区の相馬小高神社などの除染作業を進めてきました。その甲斐あって7月28日から30日、千年以上の伝統を誇る相馬野馬追が2年ぶりに通常開催されました。

29日に雲雀ヶ原祭場地で行われた本祭りでは、404騎の騎馬武者による神旗争奪戦や甲冑（かっちゅう）競馬が復活。祭場地には、県内外から一昨年より約4,000人多い約42,000人が詰めかけました。避難先の仙台から地元の祭りを見るために帰ってきたという鈴木さんご一家は「まさか人がこんなに来るとは思わなかった」と、びっくりした様子。

相馬野馬追執行委員会によると、3日間の観光客は昨年の4倍を超える15万9,700人が訪れ、2年ぶりに繰り広げられた戦国絵巻を楽しみました。